

令和6年度 学校評価書(中間評価)

※1段:R5最終 2段:R6中間

能登町立柳田中学校

重点目標	外部アンケート				自己評価			達成度状況の考察(○)と改善方法(●)
	保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	A+B	評価指標	達成度評価規準	評価	
「学び」のある学校づくり	学校は、学力向上に積極的に取り組んでいると思いますか。	84.5 95.8	各教科の授業内容はよくわかる。(全教科平均)	88.3 82.3	【努力指標】「わかる授業・学び合える授業」を目指して授業改善に努め、生徒が「折れない心を持つこと」を実行できている。	◆授業アンケート (全教科平均) ◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 75%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	○各種コンテスト等の取組において、基本的な内容の定着が見られる。しかし、活用することに課題がある。 ●問い合わせに応じた適切な表現に必要な語句や内容を明確に示していく。 ●生徒自身が考えを進めていく活動を増やしていく。
			答えを導き出す課程のペア活動やグループ活動を楽しいと思う。	94.3 88.5				
			自分の考え方を伝わるように資料や文書、話の組み立てなどを工夫して発表していた。	96.2 76.9				
	お子さんは、学年目標時間(1年60分、2年70分、3年80分)の家庭学習の習慣が身についていますか。	54.9 46.8	毎日、学年目標の家庭学習に取り組んでいる。	71.1 53.8	【成果指標】家庭との連携を通して、家庭学習の習慣化を図ることができた。(あゆみノートやメディアアコントロール運動の取組)	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 75%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	C	○宿題の提出率はよいが、目標時間を達成できていない。 ●家庭学習をする意義を改めて伝え、各教科の宿題の内容や分量についても確認し、見直していく必要がある。 ●家庭学習の習慣化に向けて、テスト期間を「家庭学習強化週間」とし、指導していく。 ●曜日ごとの宿題計画表を家庭に知らせる。 ●授業の予習や復習など、普段の授業とつながる宿題を出す。
	お子さんは3点固定(起床時間・就寝時間・家庭学習開始時間)がされていると思いますか。	52.0 75.5	自分で計画を立て勉強している。	84.1 71.2				
「関わり」のある学校づくり	お子さんは、正しい生活習慣が身に付いていますか。	68.6 86.4	きちんと朝食を食べている。	91.3 98.1	【努力指標】家庭と協力・連携して、より良い生活習慣が身につくように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 75%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	○朝食摂取率が上昇した。また、早寝早起きを心がけている生徒も増加した。養護教諭を中心に、保健便り等で指導した成果であると思われる。
			早寝・早起きを心がけている。(睡眠時間を7時間以上確保)	88.3 92.3				●今後も生活習慣についての指導を継続する。
	お子さんは学校へ楽しそうに行っていますか。	91.2 94.2	学校へ行くのが楽しい。	92.1 94.2	【努力指標】部活動や生徒会・委員会活動や各種行事などを通じて、充実した学校生活がおくれるように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 75%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	○友人や教職員との人間関係が良好で、授業や部活動、行事等で、ある程度の満足感を得ているためだと考えられる。 ○自分にはいいところがあるという生徒の数値が減少している。
			難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している。	82.4 82.7				●自分のことを過少評価する生徒や、重要な役割を担うことで自信が持てない生徒に対しては、担任だけでなく、複数の職員でよさを伝えていく。
2	学校は、「いじめを許さない学校づくり」に努めていると思いますか。	95.2 98.0	自分の行動に自信を感じることがある。(自分にはいいところがある)	82.3 78.8				
			部活動は、自分を鍛えてくれる。	92.1 94.2				
			生徒会活動や委員会活動はやりがいがある。	94.2 92.3				
	学校は、「地域やふるさとについて学ぶ機会を多く設定していると思いますか。	95.2 91.4	思いやりの心を持って、級友などに接している。	96.1 96.2	【努力指標】生徒会の活動を中心に、「いじめを許さない学校づくり」を行うことができた。	◆生徒アンケート A: 95%以上 B: 90%以上 C: 85%以上 D: 85%未満 ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	B	○友達との関係は良好である。 ●学校生活中で子どもをよく観察し、変化を見逃さないようにする。また、毎週の生徒理解の会で情報を共有する。 ●今後も保護者と連絡を取り合い、適切な対応につなげる。
			自分の周りには、いじめや仲間はずれはない。	88.2 90.4	【努力指標】道徳の授業を確保し、道徳心や人権意識など心の教育に努力している。	◆生徒アンケート A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	B	
3	学校は、地域やふるさとについて学ぶ機会を多く設定していると思いますか。	95.2 91.4	地域やふるさとについての学習に積極的に取り組んでいる。	78.4 65.4	【満足度指標】生徒に対し、ふるさとや地域に自向させ郷土愛を深めることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 75%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	○震災等で地域との関わりが希薄になっていると考えられる。 ●伝統文化や海洋教育など、地域学習を継続することで、地域との関わりをもてるようしていく。
			地域の人たちにきちんとあいさつができる。	92.1 86.5	【努力指標】挨拶やマナーなど、中学生らしくその場に応じた言動ができるよう日常的に指導を進めることができた。	◆生徒アンケート A: 90%以上 B: 75%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	
	お子さんと将来の進路や自己実現について話をしていますか。	69.1 58.2	将来の進路に対する夢や目標を持っている。	70.6 61.5	【満足度指標】将来の夢を実現するために、学ぶことの大切さが分かるキャリア教育を推進している。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 75%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	C	○保護者・生徒ともに割合が下がった。将来の目標や自身の進路について考える機会が不足している。 ●ジョブカフェ参加や職業人講話に話を聞くなど、進路について考える機会を設定する。
	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていると思いますか。	95.2 98.0	学校だよりなど、学校からのお知らせを必ず保護者に見せている。	86.2 84.6	【努力指標】学校だよりや各種お便り等を充実させ、学校から積極的に情報発信することができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 85%以上 C: 80%以上 D: 80%未満	C	○大きな変化なし。紙面だけでなくメール等も活用している結果である。 ●今後も、紙面だけでなくメールを活用していく。生徒の端末を使っての情報発信も進めていく。
	教職員(SC・相談員含む)は、悩みや相談について適切に応じていると思いますか。	94.9 90.3	いろいろな悩みについて、先生は相談にのってくれる。	98.1 92.3	【努力指標】教育相談活動を充実させることで、生徒の悩みや相談事を親身に受け止め、共感的人間関係づくりと自己存在感・自己決定力をつける生徒指導に努めることができた。	◆生徒アンケート A: 95%以上 B: 90%以上 C: 85%以上 D: 85%未満 ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	B	○悩みを反対したり、先生に「相談」したり、「トラブルに対応」してくれるという数値は90%前後ではあるが、減少している。個々への対応が必要である。 ●生徒の変化を見逃さないよう、登校時の様子等を観察し、気になる生徒への早期対応・いじめ等の未然防止を徹底する。また、気になる事案について、家庭や関係機関と連携して対応にあたる。複数で対応する。 ●AやB的回答できなかった生徒について、個別に対応していく。
			いろいろな悩みについて、友だちは相談にのってくれる。	98.0 86.5				
	先生方は、いじめやトラブルに対し、すぐに対応してくれる。	96.1 92.3						
	先生や友達からほめられたり、認められたりすることがある。	90.2 88.5						
	インターネット・タブレット等の使用に関して、家庭内にルールがありますか。	59.3 61.3	メディアコントロールに取り組んでいる。	72.6 59.6	【努力指標】家庭と連携し、生徒に端末機器を扱うセルフcontresトロール力を身に付けさせることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A: 90%以上 B: 75%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	C	○保護者・生徒ともに数値が減少した。メディアの使用についてコントロールする力が身に付いていない。 ●メディアを禁止するばかりではなく、コントロールできるように取り組む必要がある。自己管理能力を高めていくために、今後もテスト期間を中心にメディアコントロールの取り組み。 ●SNS講習会を行い、メディアとの正しい付き合い方を学習する。